

長寿ばんざい

西谷の長寿横綱のご紹介

明治34年生まれ

西岡よしゑさん (切畑)

森中なみさん (玉瀬)

坂上まさのさん (境野)

百寿

大河のごとく 大樹のごとく

百歳の春秋に生きて

悠々の大地による 心からこい願う

末永き御健康と心豊かなお幸せを

(井戸県知事)

百歳の長寿を祝し、総理大臣、県知事、市長よりお祝いを頂かれました。心よりおめでどうの拍手を送りましょう。

「敬老の日」から約一ヶ月。

あなたはその日、何を考えられたのでしょうか・・・?

私が心がけていること

週に2回、デイサービスに行きます。

出かける日は、「今日は何を着ようか」と迷います。

足や腰が痛いので、健康のために毎日、家の周りを

3周歩きます。

(波豆 奈良平まさる 80才代)

「人生50年」とは遠い昔の言葉。今、私は満92才の高齢で元気に暮らしております。

こうして今も健康で幸せに暮らしております。このも、家族の温かい愛の賜物と毎日感謝して生きています。

これからいつまで生きられるかわかりませんが、周囲の者に迷惑がかららない様、私の念願するところでございます。

人生の荒波越えて92年

生きるよろこび今日も感じる

(中部 平井やえの 90才代)



わたしたちができること・・・おじいちゃん、おばあちゃんへ

上佐曾利 二葉 七恵 (小4)

「きれを買ってきてね おばあちゃんに手作りのエプロンをプレゼントするの!」

上佐曾利 後北 真衣 (小4)

「おじいちゃんは見えないねん。だから、畑へ連れて行ってあげる。見えなくても 畑のこと 何でもできるよ!」

下佐曾利 南 香央里 (中2)

「おばあちゃん元気で畑仕事をしてます。私たちは おばあちゃんの作った野菜を食べます!」

大岩谷 鈴木 啓太 (中1)

「おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に住んでいないので 僕の家では 敬老の日が普通の日です!」

切畑 久代 紗由里 (中1)

「おばあちゃん75才です。私は畑仕事を手伝います。苗を植えたり 芋のつるを取ったりします!」

東部 加茂 昇馬 (小1)

「学校で二人のおばあちゃんの絵をかくてそれをプレゼントしたよ!」

武田尾 植山 裕貴 (小2)

「おじいちゃんも、おばあちゃんも元気で畑仕事を頑張っているよ!」

「敬老の日」とは、私にとって年に一度、お年寄りや年輩の方々の存在を見つめる日なのかもしれません。「年の功」という言葉があるとおり、長年の堪や、知識、経験など・・・接していると、何か深い意味があるように感じます。これからも、ちよっとした工夫、知恵などをもっと知りたいと思えます。今までの時代を支えてきて下さったように、私も努力していきたいと思えます。

(長谷 古東 玲子 20才代)

持ちつ持たれつ二人三脚。

21世紀に入り初めての敬老の日を迎えた。家には90才を過ぎた祖母がいる。10才前後の子どももいる。なかなかいい関係にある。時には話が合わず笑みを浮かべる光景がおかしくてならない。

このご時世、考えさせられる事だらけ・・・でも、今を精一杯生き、自分らしさを失ってはいけません。(玉瀬 辰巳 敦子 30才代)

私の父はこの9月で満93才を迎えました。今は老健施設でお世話になっております。定期的に夫婦二人で父の顔を見て施設を訪問します。顔を見て話をすれば、その日の元具合がわかります。施設の中で後姿を見れば、おやじやおふくろに思えます。最近福祉サービスが進んでありがたいです。長い人生を生き抜いてこられたおじいさん、おばあさん達がいつまでもお元気で明日に向かって頑張つてほしいと常々思います。老人の姿は私たちの将来の姿でもあるのです。老人を思いやる敬老の日、この日だけでなく、毎日が敬老の日であつてほしいと思えます。(西部 森脇 栄治 50才代)

介護の現場から

わが国は、人生80年型の長寿社会を迎えつつあります。65才以上の高齢者の人口は2015年に総人口の25%台に達し、2050年には実に国民の3人に1人が61才以上ということになります。

私は現在、高齢者の介護という仕事に従事しております。この仕事に就いて、まだ2年余りですが、お年寄りの介護を行ううちに、日々、介護には何が大切なのかと考えるようになりました。食事のお世話や入浴・排泄のお世話は、慣れれば誰でもできることです。それよりも大切なことは心のケアで、それが一番難しいことです。私は身の上のお世話より、お年寄りとのコミュニケーションを大切に考えて日々の仕事をしております。一日は会話に始まり、会話に終わります。

高齢者の方々は、私たちの2倍も3倍も人生経験が豊富で、お話を聞くだけでも毎日が勉強になり、得るところがたくさんあります。また、昔のお話を聞かせてくれるのは生き生きとしており、とても楽しそうです。私のこの文を読まれて、少しでも共感していただけたら光栄です。皆さんも近くにお年寄りがいらしたなら、少しでもお話をされたらいかがでしょうか。それが敬老の本来の意味ではないでしょうか。

(鶴見台 岡本 修三 40才代)

学校行事	幼稚園	11/17 (土) 土曜ふれあい 小学校のふれあい活動に参加します	小学校	10/29 (月) クリーン作戦 校内を保護者と子ども達できれいにします	12/14 (金) 育友会バザー・参観
		12/18 (火) なかよし会 地域の未就園児を招いて一緒に遊びます		11/2 (金) 公開研究会 11/17 (土) 土曜ふれあい	中学校
					11/2 (金) 文化祭 11/20 (火) 連合陸上

元気印の仲間たち

20



地域交流から地域発展へ

自休村管理運営協議会

この協議会は、西谷にある自然休養村センターが事務所となって、西谷の各農家と農業に関する団体や自治会連合会、老人クラブ、婦人会などの団体の代表者で構成されています。イベント行事として上佐曾利の花まつり、収穫祭を行っています。実りの秋、西谷の自然豊かなこのお祭りに来場された人々は、満足されていると思っています。

農産物の生産においては、農協を中心として栽培講習会や野菜の生産・流通にも取り組んでいます。宝塚朝市を始めて6年になりますが、西谷の新鮮野菜が信頼を受けています。これも自休村から立ち上がってきた事業の一つです。また、観光レジャー農業も西谷にふさわしい方法を見つけ出し、発展させていかなければならないと思っています。農家の生活の向上を図るとともに地域の活性化を考えていかなければなりません。自休村を中心として地域の人とはもとより都市に住む人々との交流を深めていくことも一策と思っています。自休村事業がその目的達成のための場として生かせるようにしなければなりません。自休村に対して要望や意見がありましたら気軽にお知らせいただくとともに、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。(会長 福中利彦)

花から元気を

もらっています

たんぽぽの会

私たちは花を愛する10人の集まりで、平成10年4月から活動を始めました。長谷の県道の桜並木の元に花をあしらった人々の気持ちがあふむのではないかと思い、プランター30個を置かせていただきました。花は長谷の古東園芸で購入させていただきます。春はパンジー、ビオラ、マリナーゴールド、秋はペゴニアなどを植えています。しぼんで枯れそうな花でも水をやれば元気になる、そんな姿を見て私たちがエネルギーをもらっています。皆様も長谷の道を通られる時は、桜並木の下の花々を見て気持ちをなごませてください。そして楽しんでください。

(代表 脇田まゆみ)



バイタリティーあふれるメンバー。
「花の植え替え時期で忙しくなります」

お知らせ

10月20日(土)・21日(日)上佐曾利公会堂周辺にて花まつり。ダリアの花が満開です。

11月3日(土)・4日(日)に恒例の収穫祭を行います。今年は新しくフリーマーケット(3日のみ)、アマチュアバンド演奏もあります。時間は午前10時から午後4時。場所は自休村センター附近。

あらゆる差別を無くす願いをこめて、本年度も校区人権啓発市民集会を11月17日(土)午後1時30分より小学校体育館で開催します。

詳しくは市広報紙、新聞折込、有線放送などでお知らせしていきます。

健康スポーツ部会

「スポーツクラブ21西谷」ってなんだろう？簡単に言うと、子どもからお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんまで地域みんなが生涯健康のために体力づくりやスポーツを通して健やかに暮らしていただくお役に立てたらと努力している部会です。5月には、自休村センターと小学校体育館で幼児、低学年を中心に親子体操を実施しました。また、小学校でのふれあい学級では、「ヒットだ、ターゲット」(軟式ボールでの当てゲーム)を行い、好評でした。7月のふるさと祭りには、サッカークラブの公式審判員の指導で園児、小学生、中学生、保護者、老人会の皆さんに参加していただき、とても楽しい自治会対抗PK戦になり、鶴見台自治会が優勝されました。「ヒットだ、ターゲット」はクラブ対抗戦を行い、大いに盛り上がりました。

今後は、地域の皆さんに年齢や体力にとらわれず、指導教室などを通して健康の維持、体を動かす喜び、仲間とのふれあいなどを実感していただけるニュースポーツにも取り組みます。自由に、前向きな気持ちで自分に合ったスポーツを見つけて楽しんでもらいたいと思います。運営委員は地域のご要望やご意見をお聞きして話し合いながら、体制を整えたいと思っています。

*今後のスケジュール(主催:スポーツクラブ21西谷)

10月下旬 西谷バレーボール大会

12月上旬 柔剣道大会(予定)

福祉部会

この夏の疲れを癒していただくため、昨年行いました「講演とお笑いの会」を、今年も行います。お誘い合わせのうえ、多数のご来場をお待ちしております。

日時 平成13年10月26日(金)

午後1時30分より

場所 希望の家グリーンホーム3階講堂

・「講演と落語2席」

講演は宝塚市健康センター顧問で医学博士の橋本博先生による「健康に挑戦」と題して健康にからめた楽しいお話が聞けます。

落語は関西の新進落語家桂吉弥さん、桂都んぼさんと、お囃子に吉崎律子さんを加えた皆さんです。

駐車場も用意しておりますので、お気軽にお越しください。

強めよう 地域の絆

西谷自治会連合会

〈西谷地区から不法投棄をなくそう〉

現在、農免道路沿いの産業廃棄物の投棄、粗大ごみの不法投棄などにより地域の自然の中にごみの山を作られ、西谷のイメージダウンはもろろのこと、ダイオキシンによる水質、土壌汚染、ひいては生態系破壊をも招きかねない状況です。このまま放置すれば今後ますますこのような問題を招くことになり、西谷地区の環境が悪化するとは明らかです。美しい自然豊かな環境を守るためには、そこに住む者が自主的な申し合わせをすることによって美しい環境を守ることができないのではないかと、この発想から西谷地区自治会連合会会長において全員一致で取り組むことになりました。『西谷地区の美しい環境を守るための地区住民の自主的な申し合わせ事項』を作成し、9月に各戸にお配りさせていただきます。また、看板の設置も予定しておりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

〈西谷の宝、子ども達を交通事故から守ろう〉

通学路の安全対策については、学校関係者とはもとより地域関係者のこれまでの努力によって児童生徒を交通事故から守るための対策が色々と行われてまいりました。この結果、一部歩道ができたところもあり、徐々に改善がなされてきました。しかしながら震災以後、交通が増加するとともに長尾山トンネルの開通も相まってさらに車両が増加し、特に大型車の通行が増えるなど車専用道路化して、交通環境はますます悪化の傾向にあります。このような状況の中で如何に子ども達を交通事故から守るか、改めて通学路の安全性をより向上させるために、小學校育友会、中学校PTAを中心に各関係団体が力を合わせて地域ぐるみで取り組んでいるところです。

(会長 辻 博見)

